題材系統表

題材は、五つの分野で構成され、活動のねらい、発想のきっかけ、使用する材料や用具などを考慮し、発達の段階とともに学びを深めることができるよう、系統的に配列されています。

造 ― 造形遊びをする活動
絵 ― 絵に表す活動
立 ― 立体に表す活動
工 ― 工作に表す活動
鑑 ― 鑑賞する活動
オ ― オリエンテーション
美 ― 教科書美術館
広 ― 広がる図工

表現の題材は鑑賞活動と適宜関連して学習できるよう、めあてを設定しています。

各用具アイコン：用具に出会い試したことをもとに活動する題材
― ICT 活用

▶つながる学び
触るなど行為性
アップサイクル
木材の加工
他者と喜びを分かち合う思い
特設ページとの関連性

	1・2 上	1・2 下	3・4 上	3・4 下	5・6 上	5・6 下
学年の始まりに適した授業びらき題材	幼児期の活動とのつながり オ ずがこうさくが はじまるよ 鑑 すきな かたちや いろ なあに 絵 どんどん かくのは たのしいな 立 ねんど でごちそう なに つくろう 工 ちょきちょき かざり 造 すなや つちと なかよし	オ もっと まるごと たのしもう 絵 きせつを かんじて	オ ためす 見つける 絵 かいて見つける わたしのすきなもの	鑑 見つけよう 感じよう 形と色のいい感じ オ ためす 見つける	鑑 感じたことを伝え合う オ わたしとひびき合う	オ わたしとひびき合う 絵 絵の具スケッチ
造 場所から			造 ここがすみか	造 まどをのぞいて	造 あんなところが こんなところに 造 光と場所のハーモニー	造 自然を感じるすてきな場所で 造 糸から生まれるわたしの空間
造 材料から	造 カラフル いろみず 造 いっぱい つかって なに しよう	造 ひかりの プレゼント 造 だんボールに 入って みると!? 造 しんぶんしと なかよし	造 ひもでつないで	造 光とかげから生まれる形		
造 行為から	造 ならべて ならべて 造 ぺったん コロコロ	造 つないで つるして 美 からだで 見つける かたち・いろ	造 クミクミックス	造 組んで立ててつなぐんぐん 美 光から生まれる形・色	美 身近なものを見つめて	
絵 想像したことから	絵 せんの ぼうけん	絵 ふしぎな たまご	絵 立ち上がった絵のせかい	絵 まぼろしの花	絵 まだ見ぬ世界	絵 音の絵
絵 生活経験から	絵 せんせい あのね	絵 こんな こと あったよ	絵 あの日あの時の気もち	絵 わすれられない気持ち	絵 あの時あの場所 わたしの思い	絵 わたしの大切な風景
絵 物語などから	絵 おはなし だいすき	絵 おはなしから 生まれたよ	絵 ことばから思いうかべて	絵 言葉から感じて	絵 言葉から思いを広げて	絵 言葉から想像を広げて
絵 材料や用具から	絵 いろいろな かたちの かみに 絵 やぶいた かたちから うまれたよ	絵 とろとろえのぐで 絵 はさみの あーと	絵 絵のぐ＋水＋ふで＝いいかんじ! 絵 ぬのでえがくと	絵 絵の具でゆめもよう 絵 光のさしこむ絵	絵 心のもよう 絵 消してかく	絵 墨と水から広がる世界 絵 感じて 考えて
絵 版に表す	絵 うつした かたちから	絵 たのしくうつして	絵 いろいろうつして	絵 ほってすって見つけて	絵 ほり進めて刷り重ねて	絵 版で広がるわたしの思い
立 材料や用具から（粘土で）		立 にぎにぎ ねん土	立 切ってかき出しくっつけて	立 ねん土の板を立ち上げて	立 けずって見つけたいい形	立 固まった形から
立 想像したことから（粘土で）	立 いっしょに おさんぽ	立 おもいでを かたちに	立 ねん土マイタウン			立 水の流れ 水の形
立 想像したことから		立 ともだちハウス		立 ようこそ！ ゆめのまちへ	立 ミラクル！ ミラーワールド 立 のぞいてみると	立 未来のわたし
立 材料や用具から	立 はこで つくったよ	立 くしゃくしゃ ぎゅっ	立 だんボールの形をかえて 立 トントン どんどん くぎうって	立 のこぎりギコギコ	立 美しく立つはり金 立 糸のこスイスイ	
工 遊ぶもの・仕組みから	工 おって たてたら 工 いっしょに あそぼう ぱくぱっくん 工 スルスル ビューン 工 わくわく おはなし すごろく	工 まどを あけたら 工 音づくりフレンズ 工 とびだせ ぴょーん 工 どんな うごきに 見えるかな	工 うごいて楽しいわりピンワールド 工 マグネットマジック	工 コロコロガーレ 工 ゴムでゴー！ゴー！ゆめの乗り物	工 切り分けた形から何つくる？ 工 形に命をふきこんで	工 ここから見ると 工 くるくるクランク
工 飾る・使うもの	工 たいせつ ボックス	工 わっかで へんしん	工 これでかきたい 工 空きようきのへんしん 工 顔を出したら なんだかワクワク 広 みんなとつながる	工 きって楽しい きっと使える 工 おもしろだんボールボックス 広 すてられそうなものがよみがえる	工 紙から生まれるすてきな明かり 広 どんなことをどんな方法で	工 1まいの板から 工 使って楽しい焼き物 工 形の組み合わせで何できる？ 広 生活を豊かにする形
工 伝えるもの				工 幸せを運ぶカード	工 ICT でチャレンジ 工 笑顔が生まれるしかけ 工 ふれて伝えるストーリー	工 あったらいいなプロジェクト 広 平和を願って
鑑 身の回りのもの	鑑 さわりごごち はっけん 鑑 すきまちゃんの すきな すきま	鑑 であって 生まれる いろの せかい 鑑 でこぼこ はっけん！ 鑑 草花の おしゃべり	美 しぜんの色 鑑 土をかんじて 鑑 お気に入りの葉	鑑 写真をとったら見えてきた	鑑 水から発見 ここきれい！	
鑑 美術作品			鑑 絵を見て話そう	鑑 体でかんしょう 美 体の形		鑑 この筆あと、どんな空？ 鑑 もようから見つけて 美 受けつがれてきた形

題材別カリキュラム

各項目の説明

題材別カリキュラム表は以下の内容で構成されています。

各項目の名称	概要
学年	１・２上～５・６下まで、該当する巻を示しています。
ページ	教科書の掲載ページを示しています。
分野	㊟（造形遊びをする）、㊙（絵に表す）、㊝（立体に表す）、㊞（工作に表す）、㊟（鑑賞する）のいずれかで示しています。 表現の題材においては、原則としてすべて鑑賞する活動と関連する形で示しています。
系統	本冊子 p.2-3に示している系統を示しています。
題材名	教科書の題材名を示しています。教科書紙面において複数の展開例を示しているものは、展開例ごとに示しています。 例）１・２上　どんどん かくのは たのしいな ～すきな もの なあに～　～おひさま にこにこ～
時数	題材を実施する際の参考時数を示しています（１時間＝ 45 分）。この枠に収めなければいけないということではありません。学校や児童の実態に合わせてご検討ください。
育てたい子どもの姿	「学びに向かう力、人間性等」の個人内評価とする部分や、日本文教出版株式会社が教科書で大切にしていること（体感、自己肯定感の向上、多様性の理解　など）と関連させ、各題材を通して児童に感じたり考えたりしてほしいことを示しています。
題材の目標	各題材の目標を、学習指導要領解説に示されている指導する事項と「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」（国立教育政策研究所）に基づき、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の３観点で示しています。 **「知識及び技能」の示し方について** ・目標をより分かりやすく示すため、また〔共通事項〕（１）アを明確に示すため、「知識」㊟と「技能」㊟の２項目に分けて示しています。 ・「技能」において示している材料・用具は教科書紙面に基づくものです。実際に使用する材料や用具に合わせて（中学年以降においては児童の経験を踏まえて）適宜設定してください。 **「思考力、判断力、表現力等」の示し方について** ・〔共通事項〕（１）イを明確に示すため、イメージに関する目標㊟をすべての題材において示しています。 ・各題材において表現と鑑賞の一体化を図るため、「発想や構想」（表現における「思考力、判断力、表現力等」）㊟に関するものと、「鑑賞」（鑑賞における「思考力、判断力、表現力等」）㊟の２項目を示しています。 ・一部の鑑賞の題材においては、表現と関連して指導する場合に配慮し、「発想や構想」（表現における「思考力、判断力、表現力等」）」も示しています。 １・２上巻での「スタート題材」や各巻オリエンテーション題材（授業開き題材）の紙面には、一部の「学習のめあて」のみを示していますが、本資料ではすべての観点を示しています。 ◎＝重点化するめあて（幼小接続題材）
評価規準の例	「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」（国立教育政策研究所）を参考に「題材の目標」と対応する形で示しています。 各観点ごとに「おおむね満足できる」状況（B）について示しています。 ※評価の考え方については、教師用指導書「指導解説編」もあわせてご参考ください。
主な学習内容	児童の活動を中心とした授業の流れを示しています。
主な材料・用具	授業で必要な材料や用具を、教師、児童それぞれが準備するものとして示しています。学校や学級の実態に応じて、教師、児童いずれが準備するのかご検討ください。 ここで示していないものであっても、活動をより広げるために用意しておいてもよい材料や用具に関しては、教師用指導書「朱書編」でご確認ください。
関連	幼児期／中学校といった校種間の関連、他教科等との関連、他の題材や教科書における題材ページ以外との関連などを示しています。 関連は一例であり、他にも多様な関連が考えられます。校種間接続や、カリキュラムマネジメントの視点からご参考ください。

p.6-7　絵の具スケッチ　生活経験から　★授業びらき題材　2～4　㊫・(鑑)

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
㊟身近な自然や場所などを絵に表すときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを理解する。 ㊛表現方法に応じて水彩絵の具を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法を組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて、工夫して表す。	㊦身近な自然や場所などを見たこと、感じたこと、想像したことから表したいことを見付け、形や色、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考える。 ㋑動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもつ。 －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－ 【鑑賞する活動を関連付けて指導する場合】 ㊪自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深める。	・主体的に身近な自然や場所などを絵に表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿 (学びに向かう力、人間性等と関連)	主な学習内容	主な材料・用具
自然や日々の出来事を味わいながら、身近な場所やもののよさや美しさを自分なりの見方で捉えようとする子ども。	○外に出てスケッチする活動に意欲をもつ。 ○身近な自然や場所のよさを感じ取り、スケッチする。 ○互いの作品を見合い、よさを伝え合う。	教師：画用紙、白ボール紙 など 児童：水彩用具一式、雑巾 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
身近な自然や場所などを絵に表すときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを理解している。	表現方法に応じて水彩絵の具を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法を組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて、工夫して表している。	動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、身近な自然や場所などを見たこと、感じたこと、想像したことから表したいことを見付け、形や色、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。	【鑑賞する活動を関連付けて指導する場合】 動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい主体的に身近な自然や場所などを絵に表す学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ

p.8-9　ここから見ると　場所から　3～8　㊟・(鑑)

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
㊟場所の奥行きを生かして、楽しく見えるものをつくるときの感覚や行為を通して、奥行き、バランスなどを理解する。 ㊛活動に応じて色画用紙やテープを活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、方法などを組み合わせたりするなどして、活動を工夫してつくる。	㊦身近な場所などを見たこと、感じたこと、想像したことから表したいことを見付け、形や色、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考える。 ㊪自分たちの作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。 ㋑奥行き、バランスなどを基に、自分のイメージをもつ。	・主体的に場所の奥行きを生かして、楽しく見えるものをつくる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿 (学びに向かう力、人間性等と関連)	主な学習内容	主な材料・用具
自分たちの力で周りの人を楽しませることができる有用感を感じ、よりよいものにしていこうとする子ども。	○教科書などを参考にしながら、ある場所から見るとつながって見える造形があることを知る。 ○校内の場所などを見て回りながら、活動できそうな場所や、活動を考える。 ○場所の特徴を生かしたり、材料や用具を活用したりして、確かめながらつくる。 ○友人と互いがつくったものを見合い、その面白さや工夫を伝え合う。	教師・児童：セロハンテープ など 教師：画用紙、色画用紙、ビニルテープ、養生テープ など 児童：はさみ、のり、タブレット端末 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
場所の奥行きを生かして、楽しく見えるものをつくるときの感覚や行為を通して、奥行き、バランスなどを理解している。	活動に応じて色画用紙やテープを活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、方法などを組み合わせたりするなどして、活動を工夫してつくっている。	奥行き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、身近な場所などを見たこと、感じたこと、想像したことから表したいことを見付け、形や色、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。	奥行き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい主体的に場所の奥行きを生かして、楽しく見えるものをつくる活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ

p.10-13　音の絵　想像したことから　2～4　㊫・鑑

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
㊟身近な音を聞いて、イメージを広げて絵に表すときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを理解する。 ㊛表現方法に応じて水彩絵の具を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	㊦身近な音を聞いて感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考える。 鑑自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。 ㋑動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもつ。	・主体的に身近な音を聞いて、イメージを広げて絵に表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿（学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
音という目に見えないものを形や色に置き換える楽しさや難しさを感じたり、生活へと目を向けよさを感じたりしようとする子ども。	○教科書の QR コンテンツから音を聞き、簡単な絵に表す。 ○生活の中で音を探し、簡単な絵に表す。 ○さらに音を聞いたり、簡単な絵に表したもの見てイメージを広げて絵に表す。 ○互いの作品を見合い、感じ方や表し方の違いや、よさを味わう。	教師：画用紙、色画用紙、コンテ・パステル、色セロハン、お花紙など 児童：水彩用具一式、クレヨン･パス、ペン、タブレット端末 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
身近な音を聞いて、イメージを広げて絵に表すときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを理解している。	表現方法に応じて水彩絵の具を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、身近な音を聞いて感じたことや想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。	動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい主体的に身近な音を聞いて、イメージを広げて絵に表す学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ
音楽：B　鑑賞　（1）鑑賞の活動	

p.14-15　糸から生まれるわたしの空間　場所から　2～4　㊟・鑑

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
㊟場所の特徴や空間を生かして糸を張って空間をつくるときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランスなどを理解する。 ㊛活動に応じて糸を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、方法を組み合わせたりするなどして、活動を工夫してつくる。	㊦糸や場所や空間などの特徴を基に造形的な活動を思い付き、空間を構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考える。 鑑自分たちのつくりだしたものの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、つくり方の変化などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。 ㋑動き、奥行き、バランスなどを基に、自分のイメージをもつ。	・主体的に糸や場所や空間の特徴を生かして新しい空間をつくる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿（学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
限られた材料しかない中でも周囲にあるものを活用したり協力したりして、よりよくしていこうと努力する子ども。	○場所の特徴を生かして、糸を張って新たな空間をつくる活動に意欲をもつ。 ○グループでアイデアを出し合いながら、糸を張っていく。 ○つくりつつある空間を確かめ、さらにつくりかえる。 ○できあがった空間を見合い、よさや美しさを味わう。	教師：毛糸 など、トレーや箱、作業台 児童：タブレット端末、はさみ

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
場所の特徴や空間を生かして糸を張って空間をつくるときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランスなどを理解している。	活動に応じて糸を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、方法を組み合わせたりするなどして、活動を工夫してつくっている。	動き、奥行き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、糸や場所や空間などの特徴を基に造形的な活動を思い付き、空間を構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えている。	動き、奥行き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちのつくりだしたものの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、つくり方の変化などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい主体的に糸や場所や空間の特徴を生かして新しい空間をつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ
算数：B　図形	

p.16-17　固まった形から　材料や用具から（粘土で）　4～6　立・鑑

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知布を固めた形から想像を広げて立体に表すときの感覚や行為を通して、動き、バランスなどを理解する。 技表現方法に応じて布や液体粘土を活用するとともに、前学年までの水彩絵の具や布についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	表布の形を変えたりいろいろな向きから見たりして、感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考える。 鑑自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。 イ動き、バランスなどを基に、自分のイメージをもつ。	・主体的に布を固めた形から想像を広げて表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿（学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
対象の形をいろいろな方向から見ることで見え方が変化することを知り、多様な見え方から面白さを感じ取りイメージを広げ、表現を深めようとする子ども。	○布に触れて、いろいろな形を見付ける。 ○液体粘土に布を浸して、つるしたりねじったりするなどいろいろな形を試して、よいと思った形で固定する。 ○固まった形をいろいろな向きから見て思い付いたことを表す。 ○自分の作品を置きたい場所を探し、置いてタブレット端末などで撮影するなどし、紹介し合う。	教師：布、空き缶、空き瓶、ペットボトル、段ボール箱、洗濯ばさみ、ハンガー、液体粘土、トレー、新聞紙 など 児童：水彩用具一式、雑巾、タブレット端末 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
布を固めた形から想像を広げて立体に表すときの感覚や行為を通して、動き、バランスなどを理解している。	表現方法に応じて布や液体粘土を活用するとともに、前学年までの水彩絵の具や布についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	動き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、布の形を変えたりいろいろな向きから見たりして、感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。	動き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい布を固めた形から想像を広げて表す学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ

p.18-19　墨と水から広がる世界　材料や用具から　2～4　絵・鑑

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知墨と水を使って和紙に試しながら、思いを広げて表すときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランスなどを理解する。 技表現方法に応じて墨を活用するとともに、前学年までの水や筆などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	表墨でかいて感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考える。 鑑自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。 イ動き、奥行き、バランスなどを基に、自分のイメージをもつ。	・主体的に墨と水を使い試しながら思いを広げて絵に表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿（学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
限られた材料や用具、色だけでも、豊かな表現ができることを楽しみ、試しながら表現を追求しようとする子ども。	○墨と水を使って、いろいろな表現を試す。 ○試したことを基に表したいことを考える。 ○墨と水、筆などの使い方を工夫して表現を深める。 ○友人と互いの作品を見合いながら、工夫やよさを感じ取る。	教師・児童：新聞紙 など 教師：墨、和紙、筆、刷毛、小皿 など 児童：雑巾、書写用具一式 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
墨と水を使って和紙に試しながら、思いを広げて表すときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランスなどを理解している。	表現方法に応じて墨を活用するとともに、前学年までの水や筆などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	動き、奥行き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、墨でかいて感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。	動き、奥行き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい主体的に墨と水を使い試しながら思いを広げて絵に表す学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ
社会：（2）我が国の歴史上の主な事象について 道徳：C　伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	

p.22-23　くるくるクランク　遊ぶもの・仕組みから　6～8　㊤・鑑

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知クランクの仕組みを使って、楽しく動くものをつくるときの感覚や行為を通して、動き、バランスなどを理解する。 技表現方法に応じて身辺材などを活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	表仕組みを動かして感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考える。 鑑動かすなどして自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。 イ動き、バランスなどを基に、自分のイメージをもつ。	・主体的にクランクの仕組みを使って、楽しく動くものをつくる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿 （学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
仕組みを工夫することで新たな動きをつくりだせることを知り、生活や社会の中での活用について関心をもつ子ども。	○クランクの仕組みを知り、つくる。 ○仕組みを動かしながら表したいことを考える。 ○材料や用具の使い方を工夫して表す。 ○作品を動かして見合いながら、よさや表現の工夫を味わい伝え合う。	教師・児童：空き箱、身辺材など 教師：針金、ペンチ、ラジオペンチ、きり、色画用紙、ストロー、竹ひご、カッターナイフ、カッターマット、木工用接着剤、化学接着剤 など 児童：ペン、はさみ、のり、セロハンテープ など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
クランクの仕組みを使って、楽しく動くものをつくるときの感覚や行為を通して、動き、バランスなどを理解している。	表現方法に応じて身辺材などを活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	動き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、仕組みを動かして感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。	動き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、動かすなどして自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい主体的にクランクの仕組みを使って、楽しく動くものをつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ
理科：A　物質・エネルギー（3）てこの規則性	

p.24-25　この筆あと、どんな空？　美術作品　1～2　鑑

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知空がかかれた美術作品を見るときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを理解する。 －－－－－－－－－－－－－－－－－－ 【絵に表す活動を関連付けて指導する場合】 技表現方法に応じて水彩絵の具を活用するとともに、描画材などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	鑑我が国や諸外国の親しみのある美術作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。 イ動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもつ。 －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－ 【絵に表す活動を関連付けて指導する場合】 表美術作品の空の表し方を鑑賞して感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考える。	・主体的に空がかかれた美術作品を見て、表し方の違いを見付け、よさや美しさを味わう活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿 （学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
さまざまな美術作品の表現方法の違いや特徴によるよさや美しさを感じ取り、表現した人の思いや考えに思いを巡らせる子ども。	○空のかかれた美術作品を見て、その表現方法の特徴や違いについて話し合う。 ○空の表現の特徴などをまねたり試したりしながら確かめる。 ○確かめたことをさらに話し合い、改めて作品を見て、よさや美しさを味わう。	教師：鑑賞する美術作品の掲示資料、モニター、画用紙 など 児童：タブレット端末、水彩用具一式 など 【「自分の空をかこう」を実践する場合】 教師：画用紙 など 児童：水彩用具一式、クレヨン・パス など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
空がかかれた美術作品を見るときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを理解している。	【絵に表す活動を関連付けて指導する場合】 表現方法に応じて水彩絵の具を活用するとともに、描画材などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	【絵に表す活動を関連付けて指導する場合】 動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、美術作品の空の表し方を鑑賞して感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。	動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、我が国や諸外国の親しみのある美術作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい主体的に空がかかれた美術作品を見て、表し方の違いを見付け、よさや美しさを味わう学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ

p.26-27　わたしの大切な風景　生活経験から　4～8　絵・鑑

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知自分にとっての大切な風景を、思いが表れるように工夫しながら絵に表すときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを理解する。 技表現方法に応じて水彩絵の具を活用するとともに、前学年までの描画材などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	表風景から感じたこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考える。 鑑自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。 イ動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもつ。	・主体的に自分にとって大切な風景を、思いが表れるように工夫しながら絵に表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿（学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
毎日の生活の中や身の回りにある大切なものやことに気付くとともに、それに思いを寄せたり自分を見つめたりする子ども。	○自分の生活や身の回りを見つめ、大切な風景を思い浮かべる。 ○思いが表れるように表し方を構想して、自分が大切に思う風景を表す。 ○友人と互いの作品を紹介し合い、感じたことや考えたことを伝え合う。	教師：画用紙、色画用紙　など 児童：水彩用具一式、クレヨン･パス、ペン　など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
自分にとっての大切な風景を、思いが表れるように工夫しながら絵に表すときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを理解している。	表現方法に応じて水彩絵の具を活用するとともに、前学年までの描画材などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、風景から感じたこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。	動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい主体的に自分にとって大切な風景を、思いが表れるように工夫しながら絵に表す学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ
国語：A　話すこと・聞くこと B　書くこと	

p.28-29　使って楽しい焼き物　飾る・使うもの　4～6　工・鑑

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知用途を考えて、楽しく使える焼き物をつくるときの感覚や行為を通して、動き、バランスなどを理解する。 技表現方法に応じて釉薬を活用するとともに、切り糸、かきべら、のし棒などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	表粘土に触れて感じたこと、使う様子を想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考える。 鑑実際に使うなどして自分たちの作品や生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。 イ動き、バランスなどを基に、自分のイメージをもつ。	・主体的に用途を考えて、楽しく使える焼き物をつくる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿（学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
自分がつくったものに愛着を感じ、使うことを楽しみ、よりよい生活をつくりだそうとする子ども。	○粘土の成形の方法について知る。 ○生活のどの場面で使うのか考え、つくりたいものやつくり方を考える。 ○つくりたいものに合うように手や用具を活用しながらつくる。 ○実際に使うなどして、作品のよさを味わい、友人と伝え合う。	教師・児童：粘土板、新聞紙　など 教師：焼成用の粘土、かきべら、釉薬、切り糸、たたら板、のし棒　など 児童：粘土べら、雑巾　など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
用途を考えて、楽しく使える焼き物をつくるときの感覚や行為を通して、動き、バランスなどを理解している。	表現方法に応じて釉薬を活用するとともに、切り糸、かきべら、のし棒などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	動き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、粘土に触れて感じたこと、使う様子を想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。	動き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、実際に使うなどして自分たちの作品や生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい主体的に用途を考えて、楽しく使える焼き物をつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ
社会：（2）我が国の歴史上の主な事象について 道徳：C　伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	・生活を豊かにする形（p.30-31）

p.32-33　1まいの板から　飾る・使うもの　5～10　工・鑑

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知1枚の板から生活で使えるものをつくるときの感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解する。 技表現方法に応じて電動糸のこぎりや塗料を活用するとともに、前学年までの木工作についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	表感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考える。 鑑実際に使うなどして自分たちの作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。 イ形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。	・主体的に1枚の板から生活で使えるものをつくる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿（学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
つくったもので生活がより豊かになることを感じ、生活の中で使えるものを考え、積極的につくりだそうとする子ども。	○生活の中で使うことができるように、目的や用途などを考え、つくりたいものを図に表すなどして計画を立てる。 ○木取りをするなど、材料を有効に活用しながらつくる。 ○思いに合わせて組み立てたり塗装したりする。 ○できたものを実際に使うなどしてよさを味わう。	教師・児童：定規、セロハンテープ など 教師：板材、のこぎり、電動糸のこぎり、金づち、釘、ちょうつがい、木ねじ、ドライバー、きり、木工用接着剤、ニス･塗料、刷毛、さしがね、紙やすり、木工やすり、ドレッサー、クランプ、万力、工作用紙、カッターナイフ、カッターマット など 児童：水彩用具一式、筆記用具、はさみ など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
1枚の板から生活で使えるものをつくるときの感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解している。	表現方法に応じて電動糸のこぎりや塗料を活用するとともに、前学年までの木工作についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。	形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、実際に使うなどして自分たちの作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい主体的に1枚の板から生活で使えるものをつくる学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ
算数：B　図形 家庭科：B　衣食住の生活（6）快適な住まい方	・生活を豊かにする形（p.30-31）

p.34-35　言葉から想像を広げて　物語などから　4～8　絵・鑑

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知詩や物語などを読んで想像したことを絵に表すときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを理解する。 技表現方法に応じて水彩絵の具を活用するとともに、描画材などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	表詩や物語などから感じたこと､想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考える。 鑑自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴､表し方の変化などについて､感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。 イ動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもつ。	・主体的に詩や物語などを読んで想像したことを絵に表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿（学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
詩や物語などから広がるイメージを形や色で捉え、より深くその言葉を味わい、新たな価値を見いだす子ども。	○詩や物語などを読んで、感じたことや思い浮かんだことを小さな紙に簡単にかく。 ○かいたことや読んで感じたことを基に表したいことや表し方を考えて表す。 ○友人と互いの作品を紹介し合い、どのようなことを表したのかを伝え合う。	教師：画用紙、色画用紙、黄ボール紙、コンテ・パステル など 児童：水彩用具一式、クレヨン･パス、色鉛筆、ペン、鉛筆 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
詩や物語などを読んで想像したことを絵に表すときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを理解している。	表現方法に応じて水彩絵の具を活用するとともに、描画材などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、詩や物語などから感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。	動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったりし、自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい主体的に詩や物語などを読んで想像したことを絵に表す学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ
国語：（3）我が国の言語文化に関する事項 B　書くこと C　読むこと	

p.36-37　水の流れ 水の形　想像したことから（粘土で）　4～6　立・鑑

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知ガラスが溶けてできる形や色の感じを生かして表すときの感覚や行為を通して、動き、バランスなどを理解する。 技表現方法に応じてガラスを活用するとともに、前学年までの粘土や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	表水の流れや水のたまる形から感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考える。 鑑自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。 イ動き、バランスなどを基に、自分のイメージをもつ。	・主体的にガラスが溶けてできる形や色の感じを生かして表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿（学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
まだ見ぬ状況を想像することに興味と意欲をもち、試しながら自分なりの方法を追求し実現させようとする子ども。	○ガラス片やビー玉を添えて焼き締める焼き物について興味をもち、つくり方を知る。 ○ガラスが溶けて流れ、溜まる様子を想像しながら、形を考えてつくる。 ○ガラスの量や色を考えて置き、焼成する。 ○作品を飾ったり、友人と互いの作品を見合ったりして、形の工夫やよさを伝え合う。	教師・児童：新聞紙、雑巾 など 教師：焼成用粘土、ガラス片・ビー玉、かきべら、切り糸、のし棒、たたら板、粘土板、竹串、割り箸、軍手 など 児童：粘土べら など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
ガラスが溶けてできる形や色の感じを生かして表すときの感覚や行為を通して、動き、バランスなどを理解している。	表現方法に応じてガラスを活用するとともに、前学年までの粘土や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	動き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、水の流れや水のたまる形から感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。	動き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい主体的にガラスが溶けてできる形や色の感じを生かして表す学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ

p.39-40　もようから見つけて　美術作品　鑑

～木版で～ ～型紙で～ ～消しゴム版で～　1～4　＊絵に表す（版に表す）活動の実施については、児童の実態や年間指導計画に応じて検討

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知伝統の文様に触れたり見たりするときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを理解する。 －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－ 【絵に表す活動を関連付けて指導する場合】 技表現方法に応じて版画の用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	鑑伝統の文様の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。 イ動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもつ。 －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－ 【絵に表す活動を関連付けて指導する場合】 表伝統の文様を鑑賞して感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考える。	・主体的に古くから生活の中で親しまれてきた伝統の文様のよさや美しさを味わう活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿（学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
伝統の中にある模様やデザインのよさや美しさを感じ取り、それらを受け継ぎ、発展させていこうとする子ども。	○生活の中にある文様を探す。 ○見たり実際に触れたりしながら、見付けたことを話し合い、よさや美しさを感じ取る。 ○版の技法を生かして自分たちでも文様をつくることで、文様を見て感じたこと、考えたことを確かめる。	教師・児童：伝統的な紋様が入った身の回りのもの 教師：参考図版、モニター 【「もようをつくろう」を実践する場合】 教師：【木版で】版木、版画用具一式、和紙／【型紙で】インク、布、画用紙、たんぽ／【消しゴム版で】インク、消しゴム など 児童：汚れてもよい服装、彫刻刀、水彩用具一式 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
伝統の文様に触れたり見たりするときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを理解している。	【絵に表す活動を関連付けて指導する場合】 表現方法に応じて版画の用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	【絵に表す活動を関連付けて指導する場合】 動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、伝統の文様を鑑賞して感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを見付け、形や色、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。	動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、伝統の文様の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい主体的に古くから生活の中で親しまれてきた伝統の文様のよさや美しさを味わう学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ
社会：（2）我が国の歴史上の主な事象について 算数：B　図形	・受けつがれてきた形（p.38、41）

p.42-45　自然を感じるすてきな場所で　場所から　2～4　造・鑑

～落ち葉の庭で～ ～雪の世界で～ ～雨の行方を想像して～ ～海の近くの砂浜で～ ～風の通り道で～

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知場所や自然材の特徴を生かして、よりすてきな空間につくりかえるときの感覚や行為を通して、動き、バランスなどを理解する。 技活動に応じて自然材を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、方法などを組み合わせたりするなどして、活動を工夫してつくる。	表場所や自然材の特徴を基に造形的な活動を思い付き、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考える。 鑑自分たちのつくりだしたものなどの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、つくり方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。 イ動き、バランスなどを基に、自分のイメージをもつ。	・主体的に場所や、自然材の特徴を生かして、よりすてきな空間につくりかえる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
育てたい子どもの姿（学びに向かう力、人間性等と関連）	**主な学習内容**	**主な材料・用具**
自然にあるものや自然現象を生かすことで、全てが思いどおりになるわけではないことを感じながら、大切にしようと思える子ども。	○自然材を生かしながら、場所をすてきにつくりかえる活動に意欲をもつ。 ○活動場所を探す。 ○グループでアイデアを出し合いながら、場所をつくりかえていく。 ○互いのつくった空間を見合い、よさを味わう。	教師： ＊落ち葉の庭で 落ち葉や枝などの自然材、麻ひもなど ＊雪の世界で バケツ、シャベル・スコップ など ＊雨の行方を想像して プラスチックカップ、ビニル袋、洗濯ばさみ など ＊風の通り道で ビニルシート、PE テープ、紙テープ など 児童：汚れてもよい服装、軍手、タブレット端末

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
場所や自然材の特徴を生かして、よりすてきな空間につくりかえるときの感覚や行為を通して、動き、バランスなどを理解している。	活動に応じて自然材を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、方法などを組み合わせたりするなどして、活動を工夫してつくっている。	動き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、場所や自然材の特徴を基に造形的な活動を思い付き、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えている。	動き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちのつくりだしたものなどの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、つくり方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい主体的に場所や自然材の特徴を生かして、よりすてきな空間につくりかえる学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ
SDGs：11　住み続けられるまちづくりを 12　つくる責任　つかう責任 13　気候変動に具体的な対策を 14　海の豊かさを守ろう 15　陸の豊かさも守ろう 道徳：B　友情、信頼 D　自然愛護	

p.46-47　版で広がるわたしの思い　版に表す　4～8　絵・鑑

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知自分の思いに合った版や刷り方を考えて表すときの感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解する。 技表現方法に応じて版画の用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	表感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考える。 鑑自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。 イ形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。	・主体的に自分の思いに合った版や刷り方を考えて表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
育てたい子どもの姿（学びに向かう力、人間性等と関連）	**主な学習内容**	**主な材料・用具**
自分の思いに合った表現を見付け、試しながら表すことを楽しみ、何度も表現することに喜びを見いだす子ども。	○版に表したいことを考え、これまでに学習した版づくりの経験を基に、どのような版表現にするか決める。 ○選んだ版表現の手順を確認し、アイデアスケッチや下絵をかく。 ○版をつくり刷る。思いに合わせて繰り返したりかき加えたりする。 ○友人と互いの作品を紹介し合い、よさや表現の工夫を伝え合う。	教師・児童：新聞紙 など 教師：版木・ゴム板・スチレンボードなど、版画用具一式、版画用紙、作業板、色画用紙 など 児童：彫刻刀、水彩用具一式 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
自分の思いに合った版や刷り方を考えて表すときの感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解している。	表現方法に応じて版画の用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。	形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい主体的に自分の思いに合った版や刷り方を考えて表す学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ
道徳：A　個性の伸長 C　伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	

p.50-51　あったらいいなプロジェクト　伝えるもの　4～8　㊝・鑑

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
㊟願いを込めた学校やまちづくりを計画して表すときの感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解する。 ㊛表現方法に応じて身辺材や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	㊦身の回りの社会の問題から感じたこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考える。 鑑自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。 ㋑形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。	・主体的に願いを込めた学校やまちづくりを計画して表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿 （学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
自分たちが生活する学校やまちの在り方について考え、主体的・創造的に関わろうとする意欲や、地域や社会の一員としての意識をもつ子ども。	○身近な社会の環境や問題について話し合い、よりよい学校やまちづくりへの思いを膨らませる。 ○アイデアスケッチをしながら、よりよい学校やまちづくりの計画を立てたり表現方法を考えたりする。 ○身近な材料や今までに経験した方法を活用して、計画を模型や設計図などに表す。 ○作品を基に思いや願い、考えたことについてプレゼンテーションする。	教師・児童：空き箱、身辺材、セロハンテープ、木工用接着剤 など 教師：色画用紙、工作用紙、お花紙、カッターナイフ、カッターマット、化学接着剤 など 児童：水彩用具一式、ペン、はさみ、のり、タブレット端末 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
願いを込めた学校やまちづくりを計画して表すときの感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解している。	表現方法に応じて身辺材や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、身の回りの社会の問題から感じたこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。	形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい主体的に願いを込めた学校やまちづくりを計画して表す学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ
SDGs：5　ジェンダー平等を実現しよう 8　働きがいも 経済成長も 9　産業と技術革新の基礎をつくろう プログラミング	・平和を願って（p.48-49）

p.52-53　感じて 考えて　材料や用具から　4～6　㊟・鑑

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
㊟手と心を働かせて、いろいろな材料を使って表すときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランス、材質感の違い、色の鮮やかさなどを理解する。 ㊛表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	㊦材料に触れて感じたことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考える。 鑑自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。 ㋑動き、奥行き、バランス、材質感の違い、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもつ。	・主体的に手と心を働かせて、いろいろな材料を使って表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿 （学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
材料などから得た感覚を基に自らの思いをもったり、思いを表すために材料などに働きかけたりすることを繰り返しながら、思いを深めて表現していく子ども。	○体全体の感覚を働かせながら、材料に働きかけ、表したいことを考える。 ○表したいことに合わせて材料や用具を活用し、働きかけて変化したことからさらに考えを深めて表現する。 ○表現したものを見て題名を考える。 ○友人と互いに作品を見合いながら、表現の変化や工夫、感じたことなどを伝え合う。	教師・児童：身辺材 など 教師：基底材（板材・厚紙・段ボール・画用紙・色画用紙など）、液体粘土、段ボールカッター、カッターナイフ、カッターマット、木工用接着剤、化学接着剤 など 児童：はさみ、筆記用具 など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
手と心を働かせて、いろいろな材料を使って表すときの感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランス、材質感の違い、色の鮮やかさなどを理解している。	表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	動き、奥行き、バランス、材質感の違い、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、材料に触れて感じたことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。	動き、奥行き、バランス、材質感の違い、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい主体的に手と心を働かせて、いろいろな材料を使って表す学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ

p.54-55　未来のわたし　想像したことから　4～8　立・鑑

題材の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知未来の自分を想像して表すときの感覚や行為を通して、動き、バランス、色の鮮やかさなどを理解する。 技表現方法に応じて針金やペンチを活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	表未来の自分の様子について感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考える。 鑑自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。 イ動き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもつ。	・主体的に未来の自分を想像して立体に表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

育てたい子どもの姿 （学びに向かう力、人間性等と関連）	主な学習内容	主な材料・用具
自分自身を見つめ、将来の自分について願いと希望をもち、想像力を発揮し試しながら、未来をつくっていこうとする子ども。	○未来の自分がしたいことや様子などを思い浮かべたり話し合ったり調べたりする。 ○表したい様子を考え、ポーズなどを考えながらつくる。 ○材料や用具を活用して、周りの様子もつくる。 ○作品を友人に見せて、将来の夢やしたいことをどのように表したのかを紹介し合う。	教師・児童：身辺材、セロハンテープ など 教師：紙粘土、アルミ針金、ペンチ、ラジオペンチ、麻ひも、板材（土台用）、金づち、ステープル、色画用紙、木工用接着剤 など 児童：水彩用具一式、はさみ、のり など

評価規準の例

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
未来の自分を想像して表すときの感覚や行為を通して、動き、バランス、色の鮮やかさなどを理解している。	表現方法に応じて針金やペンチを活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	動き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、未来の自分の様子について感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。	動き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい主体的に未来の自分を想像して立体に表す学習活動に取り組もうとしている。

関連

他教科等	特設ページ
道徳：A　希望と勇気、努力と強い意志 総合：各学校の総合的な学習の時間の内容	